



※『行政自治会だより』は古河市公式ホームページ（市民協働課）からもご覧いただけます。

回覧

行政自治会だより

令和6年7月1日発行

第38号

■発行所／古河市行政自治会

事務局 TEL 0280-92-3113

■発行人／会長 小川 久雄

会長就任のごあいさつ



古河市行政自治会

会長 小川 久雄

古河市行政自治会会員の皆様には日頃より行政自治会の行事等にご理解ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

この度、行政自治会会長に選任されました、第6地区長で、緑町自治会長の小川久雄です。

浅知短才の私が、会長と言う重責を勤める事と成り身の引き締まる思いです。皆様方のご指導・ご鞭撻を頂きながらこの重責を全うして参りたいと思います。宜しくお願い致します。

令和元年に熾りました世界的なコロナウイルス騒動以来、自治会・行政区の活動も様変わりしてしまいました。自治会・行政区の伝統的な行事も行えず悔しい思いをされた方々も沢山いると思います。一度廃止さ

れた行事を立ち上げるのには相当なエネルギーが必要です。しかしながら、自治会・行政区会員の、安全と安心、気持ちの安らぐ地域づくりのために、行政の最小単位である自治会・行政区の活動は不可欠だと思っています。

今年は正月早々に能登半島で震度7と言う大地震が発生しました。その後も各地で震度5弱以上の地震が発生し、まさに地震列島と成ってしまいました。そこでいち早く復旧を開始したのは自治会活動が活発な地域だと言われています。

古河市でも徐々にですが、自治会・行政区も活性を取り戻してまいりました。市行政と各地区の自治会・行政区・そして、各地区コミュニティとが協働して、調和を図りながら各地区の活性化に努められたら住んでいる人もその地区に住んで良かったと思って頂けると思います。その為に市行政との橋渡しの役目を仰せつかったと考えています。皆様のご協力をお願い申し上げます。

自治会長・行政区長退任者へ感謝状を贈呈しました

令和6年度 感謝状受賞者

地区	自治組織名	氏名(敬省略)	在職年数
第2	原	綿引正衛	25年
第1	西片町	赤坂育男	20年
第1	東片町	田口精二	18年
第1	桜町	小堀英男	17年
第20	並木	横瀬一男	16年
第4	茶屋西町	羽兼邦夫	12年
第7	県営新久田アパート	水上幸江	10年
第1	横山町	古橋道正	8年
第5	松原町	古澤朝夫	8年
第7	あけぼの台	桜井栄子	8年
第3	下山一丁目	三村洋輔	7年
第7	駒ヶ崎	小倉英雄	5年
第8	リパティヒル135	尾沼卓	5年
第1	四丁目	大高啓治	4年
第1	天神町	橋本正一	4年
第4	上町	末永金子	4年
第4	神明町	渡辺勝好	4年
第7	鳥喰町	猿山光博	4年
第9	東牛谷南町	石島剛	4年
第13	北新町	佐藤博史	4年
第18	仁連江口第二	西脇寛	4年

令和6年4月19日(金)、野本電設工業コスモスプラザにおいて、認証書交付式が行われ、針谷市長から自治会長・行政区長へ認証書が手渡されました。

続いて、在職4年以上で退任された自治会長・行政区長に感謝状と記念品が贈呈されました。

長い間、お疲れさまでした。

令和6年度 古河市自治会長・行政区長認証書交付式



並木行政区 横瀬氏

令和6年度 古河市自治会長・行政区長認証書交付式



茶屋西町自治会 羽兼氏

令和6年度 古河市自治会長・行政区長認証書交付式



仁連江口第二行政区 西脇氏

地区長・副地区長会議報告 役員が決まりました！

令和6年4月15日（月）、第1回地区長・副地区長会議が中央公民館で行われました。

この会議で行政自治会の新役員が決定され、新年度の事業計画や予算について協議し、承認されました。役員名簿及び地区長・副地区長名簿については、次のとおりです。

また、加入されている自治会・行政区がどの地区に区分されているのか改めてご確認ください。

役員名簿

役職名	氏名	地区
会長	小川 久雄	第6地区
副会長	長濱 忍	第9地区
副会長	梅津 信男	第16地区
理事	吉田 昭万	第3地区
理事	宗像 久子	第12地区
理事	永井 行男	第20地区
会計	松本 桂一	第4地区
監事	青木 裕	第10地区
監事	村上 直久	第18地区

地区長・副地区長名簿および自治組織一覧（223団体）

令和6年4月1日現在

名称	組織数	地区長	副地区長	自治会（古河地区）・行政区（総和・三和地区）の名称
第1地区	36	須田 昭二 （観音寺）	小出 富也 （厩町）	石町、紺屋町、二丁目、横山町、三丁目、一丁目牡丹会、四丁目、東杉並町、西杉並町、東代官町、西代官町、四丁目、田町、天神町、厩町、白壁町、仲之町、東片町、西片町、観音寺、台町、小砂町、桜町、三神町、長谷町、南長谷、江戸町、大工町、東鷹匠町、西鷹匠町、牧野地、弥生、西の台、長谷本町、グリーンパーク第一、東長谷
第2地区	18	松田 廣 （元原）	穠山 廣 （八幡町）	鍛冶町、北新町、八幡町、七軒町、南新町、昭和町、末広町、雷電一丁目、東原、原、元原、新原、旭ヶ丘、南下山町、ヴェルシティ古河、アプリ KOGA、友愛コーポ、アイディーコート古河
第3地区	5	吉田 昭万 （下三）	秋山 和彦 （下山二丁目）	旭、下山一丁目、下山二丁目、下三、住吉町
第4地区	21	松本 桂一 （中田町）	原口 泰仁 （中田一丁目）	上町、茶屋町、中田町、中田新田一丁目、中田新田二丁目、中田新田三丁目、中田新田東、大山一丁目、大山二丁目、大山四丁目、中田一丁目、さつきが丘、茶屋西町、青葉台、神明町、さくらが丘、希望ヶ丘、親和、中田新町、新大山、大山サンハイツ
第5地区	7	中村 仁 （中横）	大高 忠男 （栄）	中横、五丁目、栄、松原町、表新町、裏新町、鳥見町
第6地区	11	小川 久雄 （緑町）	関 一郎 （常盤台）	雷電二丁目、三杉町、緑町、雷前、平和台、常盤台、静町、桃ヶ里、もみじヶ丘、新平和町、ルネ古河若葉
第7地区	18	渡邊 慎一 （東谷）	小野 等 （鳥喰町）	新久田町、新久田三丁目、赤松町、鴻巣一丁目、鴻巣二丁目、駒ヶ崎、坂間町、鳥喰町、ひばりが丘、富士見町、ククヤ台、県営新久田アパート、光陽台、あけぼの台、坂間企業団地、東谷、けやき平、グリーンヒル998
第8地区	6	凌木 利行 （リバティヒル135）	舘野 洋二 （小堤）	上大野、稲宮、小堤、関戸、新町、リバティヒル135
第9地区	7	長濱 忍 （東泉町）	高橋 正 （東牛谷）	西牛谷、八幡町、東牛谷、今泉、東泉町、みどり野、東牛谷南町
第10地区	4	青木 裕 （上辺見）	宮崎 忠義 （中辺見）	上辺見、中辺見、女沼、フレッシュタウン
第11地区	4	小倉 義典 （大堤）	佐野 義光 （みずきの街）	上辺見南町、下辺見、大堤、みずきの街
第12地区	5	宗像 久子 （駒羽根住宅団地）	伊藤 堯淑 （駒羽根元橋）	釈迦、磯部、駒羽根、駒羽根住宅団地、駒羽根元橋
第13地区	7	鎌仲 英俊 （砂井新田）	吉沼 明夫 （高野）	砂井新田、上砂井、内水海、町水海、前林、高野、北新町
第14地区	5	内田 康夫 （柳橋）	湯本 亨 （久能せせらぎ）	久能、下大野、柳橋、葛生、久能せせらぎ
第15地区	14	鶴見 好男 （諸川上町）	関根 徹 （諸川西松原）	諸川下町、諸川新町、諸川大日前、諸川仲町、諸川上町一、諸川上町、諸川中央町、諸川東松原、諸川西松原、諸川西部、諸川台、五部、東諸川、新東諸川
第16地区	5	梅津 信男 （上片田宮前）	関 信雄 （上根）	上根、上和田、駒込、上片田、上片田宮前
第17地区	4	鮎川 稔 （大和田上）	鈴木 武 （大和田下）	下片田、大和田上、大和田下、新和田
第18地区	12	村上 直久 （八俣新町）	原 竹夫 （北山田）	仁連御辺、仁連下町、仁連上町一、仁連上町二、仁連上町三、仁連上町四、仁連上町五、仁連江口、仁連江口第二、宿、北山田、八俣新町
第19地区	19	湯本 豊 （小立野第二）	増田 敏浩 （南）	南、中里、新々田、大綱、米倉、清水、赤松、沼影、沼影第二、福原、小立野、小立野第二、笹原、谷貝北、谷貝中、谷貝南、山田、かし山、長左門新田
第20地区	15	永井 行男 （下尾崎二）	塚原 治夫 （丸山）	恩名下坪、古屋・松山、丸山、新立、下尾崎一、本山田、下尾崎二、瀬戸屋敷、並木、前新田、下内、加下間、江口、間中橋、間中橋南

令和5年度 地区長・副地区長視察研修

令和6年2月2日（金）、地区長・副地区長21名の参加を得て視察研修を行いました。研修先は、埼玉県鴻巣市松原地区自治会連合会。テーマは、「健康なまちづくり運動の数値化（見える化）による地域活性化」。講師は、松原地区自治会連合会 顧問 高橋淳一氏でした。松原地区自治会連合会（以下、松自連）からは、自治会長並びに役員・社協松原支部・環境衛生連絡会の方々が出席されました。

はじめに、松自連の沿革・構成の説明がありました。構成は、文化体育委員会・生活環境委員会・社会教育委員会があり、自治会長はいずれかの委員会に入っており、3つの委員会の活動・地元小中学校への支援及び社協松原支部への協力等の活動状況の説明を受けました。その中で自治会加入率が約80%と紹介があり驚きを禁じ得ませんでした。

松自連では、会員の高齢化が進むにつれ、自治会が衰退し継続出来なくなる恐れが出て来たため、自治会活動を数値化することになりました。数値化すると、自治会長が『活動成果が解る』『活動状況が掌握できる』『今後の活動の参考になる』と様々なメリットがあると説明を受けました。数値化の方法としては、行事（心の健康・体の健康）の参加人数を世帯数で割り指数を算出していて、数値化すると推移も見る事が出来るとのことでした。

また、活動のメリットを未加入の若い世代の人達に伝え、ホームページへ加入の案内を掲載する等呼びかけを実施し、自治会への加入促進を図っています。

高齢により、退会された方を対象に説明会を開催し「自治会の恩恵を受けるため必要な費用だけは負担して貰う。」ことをお願いし、退会後も良好な関係を築いているそうです。

最後の意見交換では、「数値化について、自治会の世帯数が少ないと参加人数が少なくなり、数値が低くなる傾向になるのでは」との質問について、世帯数の少ない自治会長から、「PR活動等により数値を上げている」との回答がありました。その他社協との連携など活発な意見交換でした。

（広報委員 梅津 信男）



研修風景



鴻巣市松原地区自治会連合会・
古河市行政自治会 集合写真

講演会を開催しました

令和6年4月19日（金）、野本電設工業コスモスプラザにおいて、古河市自治会長・行政区長認証書交付式終了後、茨城県生涯学習・社会教育研究会 会長 長谷川 幸介氏を招き、古河市行政自治会主催の講演会を開催しました。テーマは『これからの自治会のあり方』～「境界」を超えた自治会の「幸せのカタチ」～。自治会長・行政区長としてできることは何かなど、長谷川氏の経験を交えた話を聞き、大変有意義な講演となりました。



講演会の様子



講師 長谷川 幸介氏

義援金を贈呈しました

令和6年3月21日（木）、日本赤十字茨城県支部古河市地区地区長である針谷市長へ『令和6年能登半島地震義援金』を贈呈しました。各自治会・行政区を通じて募集した義援金は、総額8,177,481円（令和6年4月13日現在）となり、全額寄付いたしました。

ご賛同いただいた皆様、誠にありがとうございました。被災地が1日でも早く復興することを祈っています。

また、近年増発している災害ですが、日頃から、近隣の人とコミュニケーションをとることも、有事の際の備えになります。日頃から自治会・行政区の活動に参加し、助け合える関係を築いておきましょう。



針谷市長へ義援金を渡す令和5年度古河市行政自治会役員
（左から小川副会長、針谷市長、湯本会長、長濱副会長）

総務大臣表彰を受賞しました

令和5年度自治会等地縁による団体功労者として全原自治会 綿引正衛さんが総務大臣表彰を受賞いたしました。綿引さんは会長を23年勤め、自治会の活動を通じて良好な地域社会の維持及び形成に長年ご尽力いただきました。誠にありがとうございます。

わたしたちが広報委員です



行政自治会の令和6年度が、小川新会長のもとスタートしました。広報委員も任期満了に伴い、10名のメンバーが選出されました。

これからも、市民の皆さまに興味深く読んでいただける広報紙を目指して、紙面の充実を図ってまいります。

地域の話題や特集要望記事などございましたら遠慮なく広報委員または事務局までお寄せ下さい。

（広報委員長 長濱 忍）

編集後記

行政自治会だよりも、平成23年7月創刊号発行から今回で第38号の発行となりました。これまでいろいろな記事を掲載してきましたが、「新型コロナウイルス」の影響で、市イベント、各地区の事業等相次いで中止となり広報紙発行も掲載記事が少なくなり寂しい限りでした。

「新型コロナウイルス」も昨年5月8日に5類に移行して、各種地域事業も徐々に再開されるようになった今年度は、これらの記事掲載を積極的にしていきますのでご期待ください。

（広報委員長 長濱 忍）

行政自治会広報委員会

委員長

長 濱 忍

委員

秋 山 和 彦 関 一 郎

小 野 等 佐 野 義 光

鎌 仲 英 俊 湯 本 亨

関 根 徹 梅 津 信 男

村 上 直 久

「こがでくらすと」ブランドムービーはこちらから

